

乾田・湛水

直播に

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ベルーガ®

直播水稲に優しい!

水稲安全性が極めて高いピリミノバックメチルと
エフィーダを混合した2成分剤(移植水稲にも使用可)

3葉期までのノビエに強い!

有効成分ピリミノバックメチルを最大量配合
(注:一発剤として)

ホタルイ、広葉雑草に強い!

有効成分エフィーダが高葉齢の雑草に効く

- イヌホタルイ: 3葉期まで
- コナギ: 3葉期まで
- ヒレタゴボウ: 草丈3cmまで
- ホソバヒメミソハギ: 草丈7cmまで
- イボクサ: 3.5葉期(実生個体)まで
- …その他各種広葉雑草

豆つぶ 250

1キロ粒剤



ベルーガが直播に最適な理由

1 水稲への安全性が高い2成分の混合剤で、直播水稲に対する影響がほとんど認められません。

- は種直後はもちろん最も葉害が出やすい稲出芽前期の処理でも安心して使用できます。
- 鉄コーティング直播栽培などの表面播種でも問題なく使用できます。
- 飼料用米、多収米でも多くの品種で安全性が確認されております。
- WCSにも使用出来ます。

2 高葉齢のノビエに対して卓効を示します。

- ヒエクリーン®の成分であるピリミノバックメチルを一発剤として最大量(9g a.i./10a)配合しており、3葉期までのノビエに安定した効果があります。
- 特に出芽後のノビエに対して効果が高いため、直播水稲栽培での使用に最適です。
- 発生前のノビエは出芽してから効果が出ますので、1.5葉期程度まで生育してから枯死します。

3 大きくなったホタルイや広葉雑草に高い効果を示します。

- 有効成分フィーダ®(フェンキノトリオン)が、高葉齢のホタルイ、広葉雑草に対して高い効果を示すため、処理時期が遅くとも安定した効果が得られます。
- 特に高葉齢の一年生広葉雑草に効果が高く、落水条件で発生しやすいヒレタゴボウなどの問題雑草にも高い効果が認められています。

適用雑草及び使用方法

2024年6月現在の登録内容

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：ピリミノバックメチル2回以内、フェンキノトリオン2回以内

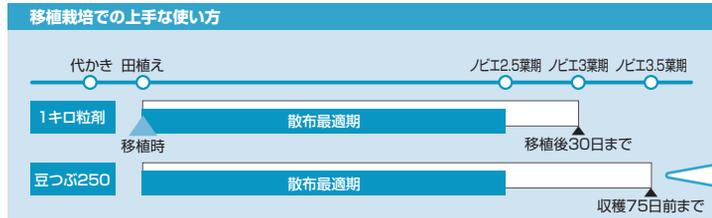
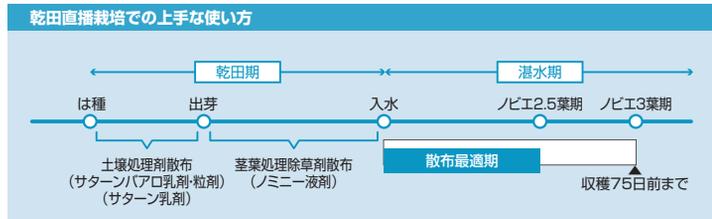
●1キロ粒剤 (農林水産省登録 第24062号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ セリ、オモダカ、コウキヤガラ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布
直播水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	は種直後～ノビエ3葉期 但し、収穫75日前まで	0.5～1kg	1回※	ごく浅く湛水して散布
		は種直後 は種時			は種同時散布機で施用

●豆つぶ250 (農林水産省登録 第24199号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ セリ、オモダカ	移植直後～ノビエ3.5葉期 但し、収穫75日前まで	250g	1回※	湛水散布、湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ セリ	稲出芽前期～ノビエ3葉期 但し、収穫75日前まで			湛水散布、水口施用又は 無人航空機による散布

上手な使い方



移植栽培において豆つぶ250はノビエ3.5葉期まで登録を有しており、生育期のホタルイや多くの広葉雑草に高い効果を示すことから体系処理の後処理剤としても有効です。

本剤の散布適期は、ホタルイ3葉期、コナギ3葉期、ヒレタゴボウ草高3cmまでです。(コナギ、ヒレタゴボウはクミカ社内試験の結果より)

●使用上の注意 (抜粋)

- 【共通】
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
 - 直播水稲の入水後に使用する場合には、除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、水持ちの安定した後に散布してください。
 - 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一週性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
 - 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
 - 本剤はその殺草特性から、いくぞ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 【1キロ粒剤】
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失ないように散布してください。
 - 多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワは3葉期まで、オモダカ、コウキヤガラは発生初期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期までが本剤の散布適期です。
 - オモダカ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。

- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにしてください。
- 【豆つぶ250】
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワは2葉期まで、ホタルイは3葉期まで、オモダカは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期までが本剤の散布適期です。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにしてください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

- 藻類・表層はく離、浮き草などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるので周縁散布はさけ、本田内で水田全面に散布してください。
- 水口に対して向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインバートの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
 - 水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意してください。
 - 室に対して影響がある場合、周辺の農薬にはかからないよう注意してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

1キロ粒剤



豆つぶ250



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2024年6月現在の知見に基づき作成しています。 2371(24-9)

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>